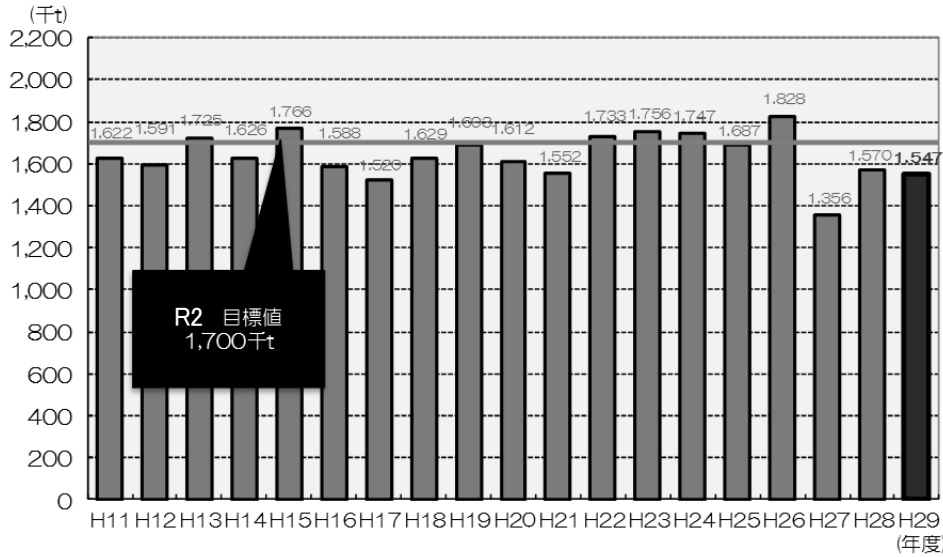


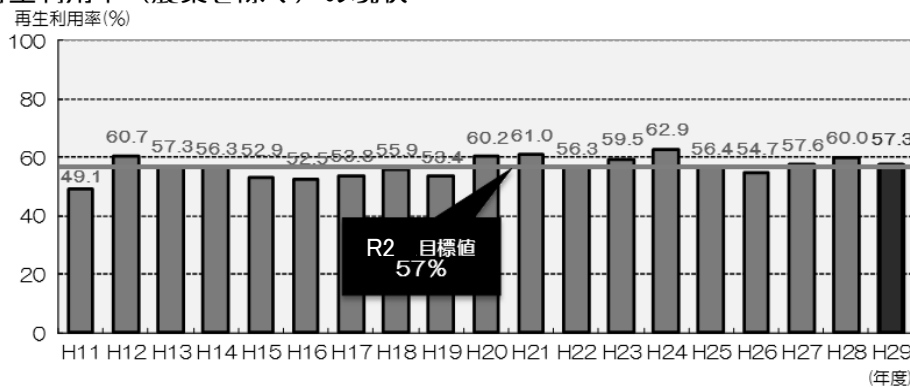
## (2) 産業廃棄物

### ①排出量の現状



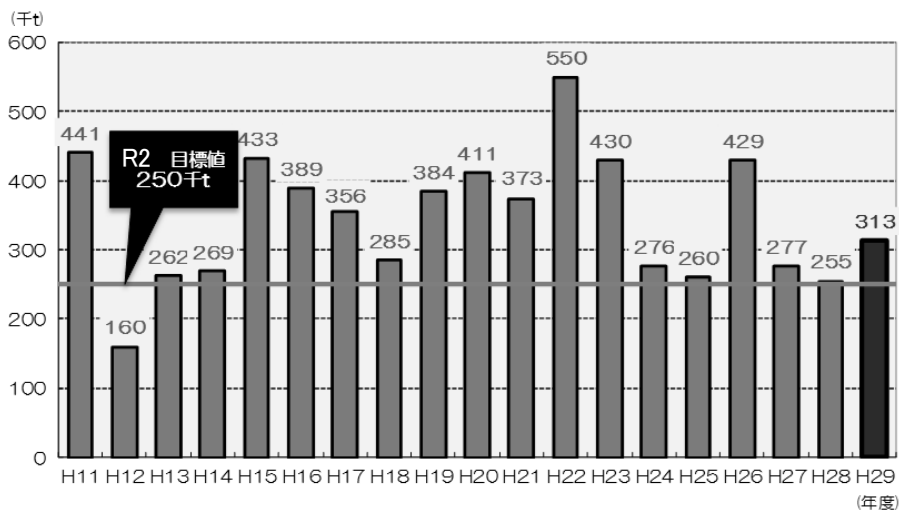
- 一般的には景気の動向などに大きく左右される傾向にあり、変動を繰り返しながら推移しています。島根県内での特徴として、排出量全体の約70%以上をがれき類、ばいじん、汚泥が占めており、排出量の増減は土木工事及び石炭火力発電所からの排出量に大きく影響される傾向にあります。平成29年度は、目標値を153千t下回っています。

### ②再生利用率（農業を除く）の現状



- 概ね50~60%の間を推移しており、平成29年度は57.3%で目標を達成しています。

### ③最終処分量の現状



- 平成22年度をピークに、その後は、セメント資材などの需要増によるばいじんの再資源化が進んだこと等により減少傾向にありますが、目標値を63千t上回っており、さらに削減が必要です。